

ホソバリユウビンタイ



学名 Angiopteris palmiformis

科名 リュウビンダイ

別名

区分 シダ類

分布 鹿兒島あまみ（奄美大島以南）、おきなわ沖繩、おがさわら小笠原、たいわん台湾、フィリピンフィリピン

葉の形 被針形

葉の縁 鋸歯、波形

葉の先 鋭尖形

葉の種類 2回羽状複葉

葉の付方

葉の基部

実の種類

花・萼色

せつ
説
めい
明

山地の谷間等の湿気さんち たにまなどの多い場所しっけ おおに生える大型ばしょ はの常緑おおがたのシダ植物じょうです。葉の長さりよくは5mほどになります。
和名わめいの「龍鱗」は株りゅうりんの托葉かぶが重なり合たくよう かさい、龍あの鱗りゅうに似うろこているからといわれています。リュウビンタイよりも大型おおがたです。